

校友会 400人が交流深める

2018年度校友会定時総会

2018年度校友会定時総会が7月21日、東京都新宿区の京王プラザホテルで開かれた。校友・後、全学応援団がステージに登場、出席者全員で校歌を歌い上げた。



新役員とともに校友会の発展を誓う小宮会長

小宮多喜次会長は西日本本豪雨災害への見舞いの言葉を述べた後「専修大学創立40周年、石巻専修大学創立30周年に向け、一致団結して大学への支援、協力に頑張ります」とあいさつ。



旧交を温める校友

日高義博理事長は「神田キャンパスの新校舎建設といったハード面のほか、新学部、新学科設置もある。新しい専修大学を打ち出せるようにしていきたい」と語った。

3氏に感謝状

学校法人専修大学に多額の寄付をいただいた3氏に、日高義博理事長が感謝状を贈った。



日高理事長から感謝状を受ける栗田氏(左)



左から日高理事長、瀧本氏、佐々木学長



感謝状を手にする中村氏(前列中央)

瀧本和男氏(昭53商)への贈呈は7月25日、神田キャンパスで行われた。

中村氏は「30年以上専大を応援してきました。一部に復帰したラグビー部には頂点を目指し、専修大学を盛り上げる」と語り、役員改選などが行われ、吉田学長は「会計や税務に関する研修会を定

期的に開催するなど、新役員とともに活動を充実させていく」と述べた。

会計人会総会

校友会職域支部で、公認会計士と税理士の会である専修大学会計人会(吉田伸江会長)が7月18日、神田キャンパスで開かれた。

企業家クラブ総会

企業の役員や管理職として経営を担う卒業生の会「専修大学企業家クラブ」の第8回総会が7月27日、神田キャンパスで行われた。23人が出席し、情報交換と親睦を図った。写真。

「専修リーダーシップ開発プログラム」の援助

インターンシップの受け入れ状況、講義への講師派遣などを紹介し、「会員の協力が学生の活動を支援し、教育の充実につながった」と成果を述べた。今後の活動について、学生と連携した活動を行うことや寄付講座の実施が提案され、実現に向けて意見を交わした。

専大校友を訪ねて



富山市で目の不自由な人のために、書籍などを点字に「翻訳」するボランティアを行っている。このほど法学部時代のゼミの指導教授・日高義博理事長の著作『読書と人生』を点訳した。

恩師・日高理事長の著書を点訳

視覚障がい者が社会生活を送る上で、不可欠の情報手段。「これだ!」とピンときたのです。

富山市のボランティアグループで活動する 齋田 倫子さん (旧姓 齋田、平7法)

毒婦

夏祭りで作られたカレーにヒ素が混入され、67人が急性ヒ素中毒を発症し、うち4人が死亡した和歌山カレー毒物事件から今年で20年たった。

専修人の新しい本

「毒婦」 和歌山カレー事件20年目の真実

美夫妻が別件逮捕され、妻はカレー事件の殺人と殺人未遂容疑で再逮捕。カレー事件無罪を主張して争ったが2009年死刑が確定。再審請求は棄却され即時抗告している。

歴史社会学者の田中ひかるさん(平13院文修)はカレー事件の資料や報道内容を一から検討し、真実美死刑囚と面会・文通を重ね、林一家を長年取材してきた。本書では「女性の犯罪とジェンダー」という側面から切り込み、死刑囚の「実像」と事件の「真相」に迫っている。(ヒジネス社刊 1600円+税)

無料法律相談会

10月以降の開催日程

ワイン大学

11/16開催

校友会情報

〈東北支部連合会総会〉

校友新社長 紹介

〈新潟県支部総会〉

校友会事務局

03・3264・1721

山形支部総会

10月13日(土) 17時